マンション騒音問題の解決には 節度と寛容とコミュニケーションが必要です

音を出す側の節度、音を聞かされる側の寛容、そして相手の節度 や寛容を感じ取れるためのコミュニケーションです。このうちの どれが欠けても騒音問題が発生してきます。相手に節度や寛容を 要求するだけになっていませんか。振り返ってみて下さい。よい 人間関係づくりが、騒音問題解決の早道です。

集合住宅はもともと遮音性能の弱い建物です。他の居住者の迷惑となる次のような行為はしないで下さい。

〈禁止項目〉

- ・時間を問わず大音量での楽器の演奏、及び音楽再生
- ・ 深夜早朝の時間帯での洗濯や入浴、掃除機、上階音 等を発生させる行動
- ・ 振動、騒音を発生させる工具による作業
- 大人数での宴会等の騒ぎ
- ・ 日常的なペットの鳴き声の発生
- ・ 居室以外の用途への使用に伴う騒音
- ・ その他、日常生活以外で他の住人に迷惑となる過大 な騒音を発生させる行為





集合住宅の中には、望ましい遮音条件を満たしていない建物もあります。下記のような建物です。この場合には、生活によって発生する騒音に対して、音源側の居住者はより節度を持って配慮し、受音側の居住者はより寛容的に対応しなければなりません。騒音トラブルでは毎年千数百件の殺傷事件が起こっています。



く建物性能不足)

- ・ 建物が鉄骨造で床がALC床版の場合
- ・ 軽量鉄骨構造および木造の場合
- ・ 床が薄く、重量床衝撃音性能が LH-50を下廻る場合
- ・ 壁の仕上げ工法がGL工法の場合

通常の生活行為に伴って発生する音に関して、過剰に苦情を言い募り、相手に対して次のような行為をすることは迷惑行為であり、しないでください。

<迷惑行為>

- ・ 乱暴な言動で苦情、文句を言うこと
- 付きまとい、および住居への押しかけ
- ・ 度重なる電話や手紙による苦情
- ・ 度重なる警察への通報
- ・ 天井や壁を棒で叩くなどの威嚇的な行為





マンション騒音問題の中心は上階音、

対策ができないので、節度と寛容での対応が必要です

マンションでは、話し声やテレビの音、ドアの開閉音やバス・ト イレの給排水音、掃除機やペットの鳴き声など、いろいろな騒音 が発生しますが、これらは防音対策が可能です。でも、上階から の足音や飛び跳ね音は物理的な対策はできません。対策は、音を 出す側の節度と聞かされる側の寛容だけです。それを可能にする のは良い人間関係です。

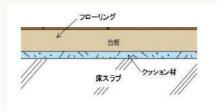
防音マットやカーペットは、足音や飛び跳ね音などの上階音には効果がありま せん。足音などは「重量(床衝撃)音」だからです。

<誤解の解消を!>

- ・ 上階からの音は軽量(床衝撃)音と重量(床衝撃)音に分けられます。
- スリッパなどのパタパタ音は軽量音、足音などのドンドン音は重量音です。
- ・ 軽量音は防音マットで小さくなりますが、
- ・ 重量音は床全体から響く音なので、防音マットや カーペットを敷いても効果はありません。
- ・ これを誤解していると、問題が拗れて騒音トラブルに 発展しかねません。ご注意下さい!
- ・重量音は床の厚みで決まります。現在の標準的な床厚は 200~250mm、望ましいのは250~300mmです。



リフォーム時のフローリング選びにも注意が必要です。マンションでは、フロ ーリングの裏にクッション材がついた防音型フローリングが用いられますが、これ も軽量音対策用です。性能表示も軽量音用です。重量音には効果はありません。



く性能表示方法>

- 昔はLL-45などLL等級が使われていましたが、これは 正確さに欠けるため、今は使われていません。
- ・ 今は ∠L L (デルタ・エルエル) 等級で表示されます。
- マンションでは △L L-4 以上の製品が望ましく、 最低でも/LL-3の製品を使うようにしましょう。 (*LLの2番目のLはライトを表しています)

2重床は、基本的に重量音性能を悪化させます。これも誤解しないで下さい。 そのため、出来るだけ悪化の小さな製品を選ぶことが大切です。

<端部処理にも要注意>

- 重量音の性能表示は/LH等級で表されます。
- ・ 望ましいのは ∠LH-3、最低限は ∠LH-2 と考えて下さい。
- ・ 2重床の性能は、端部の壁との取り合い部 (際根太) の仕様 が重要です。接触部分がないように施工することが必要です。 (*LHのHはヘビーを表しています)

